

経営比較分析表（令和3年度決算）

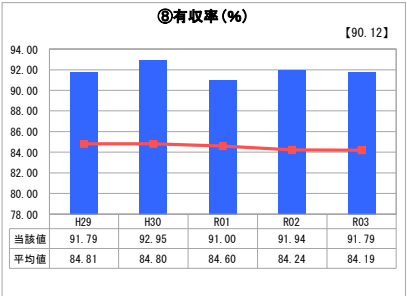
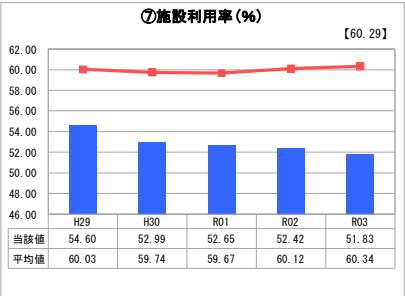
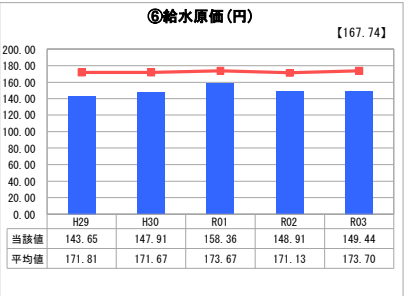
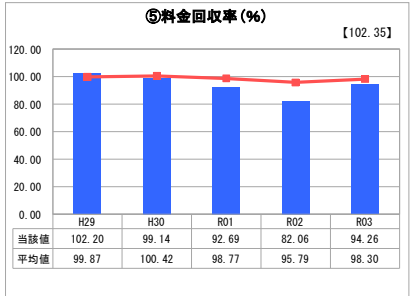
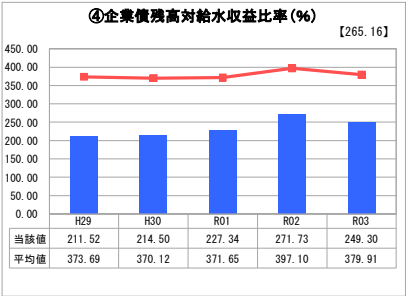
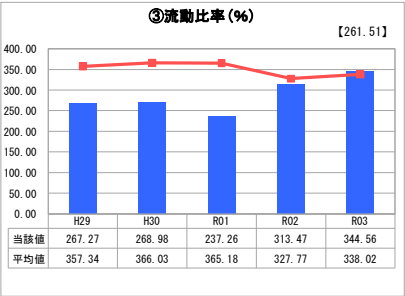
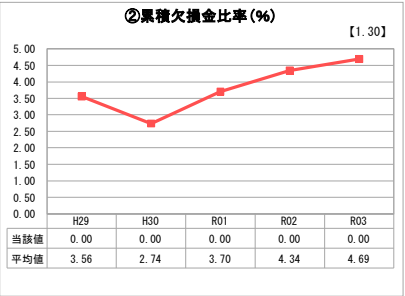
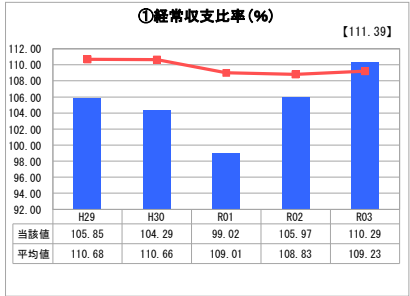
埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.56	99.77	2,593	

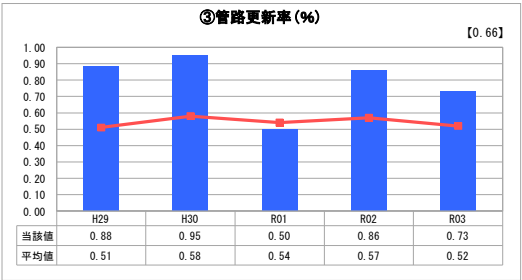
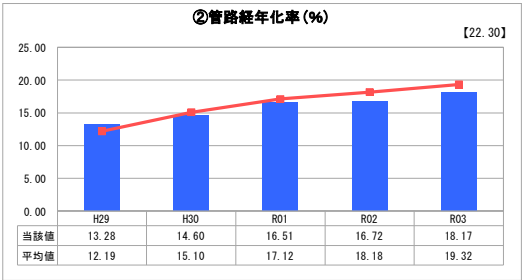
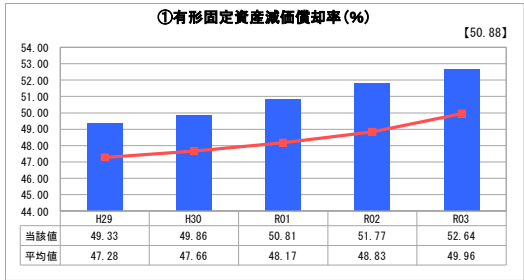
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,900	34.07	965.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,683	24.20	1,350.54

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%以上となっており、単年度収支が黒字である。
- ③流動比率
平均値に近くなっており、100%を大きく上回っている。前年度より改善されている。
- ④企業債残高対給水収益比率
給水収益が減少しているため上昇している。令和3年度に料金改定を行ったが、コロナ対策の減免事業を行ったため、前年より高くなってしまっている。
- ⑤料金回収率
100%を下回っているがコロナ対策の減免事業が影響している。料金改定を行ったので来年度以降回復する見込み。
- ⑥給水原価
有収水量1m³あたりにかかる費用を示すもので、前年度より改善がされている。
- ⑦施設利用率
1日配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、平均値を下回っているが上昇傾向にあるため、施設のダウンサイジングの検討を行う必要がある。
- ⑧有収率
平均値を上回っており、今後もこの水準を維持できるよう努める。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示している。平均値を上回っており、また年々上昇している。施設や管路の老朽化が進んでいる状況である。
- ②管路経年化率
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示している。平均値を下回っているが上昇傾向にあるため、積極的に老朽管の更新を実施していく。
- ③管路更新率
前年度と比較し割合が落ちてしまっている。今後積極的な更新事業を実施する。

全体総括

人口減少や節水機器の普及により、給水収益が減少し、施設の更新事業の財源の確保が厳しいため、令和3年10月に料金改定を実施した。

このことにより、老朽化した施設の更新を積極的に進めていく予定である。特に管路に残っている石綿セメント管の更新を早急に行い、将来にわたり安心安全で安定的に水を供給できる経営を維持していく。また、施設のダウンサイジングや、機器のスペックダウンなどを検討し、適切な施設規模となるよう努める。